

まちのわだい

緑と自然の大切さをアピール

〜第58回鳥取県植樹祭〜

森林の役割や大切さについて考え、森林づくり活動への参加を広く呼びかけることを目的に、第58回鳥取県植樹祭が5月20日、とっとり花回廊で開催されました。また今回は、来年同所で開催される第64回全国植樹祭の開催PRと、開催気運を盛り上げるための関連行事も実施されました。

最初に、鬼面太鼓振興会のエネルギーな演奏でオープニングを飾った後、平井知事や森安町長らがあいさつを行いました。続けて、植樹祭や全国林業後継者大会テーマの応募者に対する表彰式が行われました。このうち、二部小学校6年梶間泰樹さんのつなげよう 森の力 森を育てるあなたの手は、第42回全国林業後継者大会の最優秀賞テーマに選定され、県実行委員会長から表彰状が手渡されました。

来年の春は、鳥取県で48年ぶり2回目の全国植樹祭が、天皇皇后両陛下をお迎えして、とっとり花回廊で開催されます。ぜひおでかけください。



記念植樹をする平井県知事と森安町長

大きくなって戻ってきてね

〜アユの放流体験〜

5月21日、鬼守橋下の河川敷で、日野川水系漁業協同組合主催による、アユの放流体験が行われました。

今回放流体験に参加したのは、溝口保育所年長・年中合わせて35人の園児たちです。始めに、県の職員や日野川水系漁協の人たちから、鳥取県の緑の豊かさや、自然環境の大切さについて話を聞きました。

また会場には、第64回全国植樹祭のマスコットキャラクター「トッキー」や、昨年開催された、全国海づくり大会のマスコットキャラクター「とリン」も駆けつけ、環境保全の大切さをアピールしました。

あいさつの後、アユが入ったバケツを渡された園児たちは、「早く大きくなってね」などと声をかけながら、川岸からアユを放流しました。

今年は、昨年よりも2週間ほど早くアユの放流を始め、これまでに180万匹を放流したとのことでした。



アユを放流する園児

昔ながらの手植えに挑戦

〜米フェスタ2012〜

5月27日、丸山のふれあい交流田(ガーデンプレイス下)で、およそ300人の参加者たちが、手植えによる田植えに挑戦しました。

この催しは、米や農業について理解を深めてもらうことを目的に、米フェスタ実行委員会が開催しており、今回で25回目となります。

個人の参加に加えて、J Aアグリキッズや親子支援 hug hug など団体の参加もあり、大変賑わいました。

米子田植え唄保存会の唄に合わせ、丸山集落宮農組合の指導により、参加者たちはおよそ20アールの水田にコシヒカリなどの苗を植えていきました。始めは慣れない手つきでしたが、植え終わる頃には皆スムーズに植えていました。



豆綱に沿って田植えをする参加者

日光の自然を味わう

〜春の山菜を食べる会〜

6月3日、日光公民館で春の山菜を食べる会が開かれました。

春の山菜を食べる会は、日光の豊かな自然をよりたくさんの人に知ってもらおうと、山菜会が開催する30年以上も続く人気イベントです。この日は、山菜会員に加え、日光女性会のメンバーもくわわり、早朝から料理に取りかかりました。今回のメニューは、いたどりや山あじさいの花の天ぷら、つくしや藤の花の酢の物、しおでの姿漬けなど、普段は口にすることができない料理ばかりです。



珍しい山菜料理に舌鼓を打つ参加者

集まった51人の参加者たちは、お品書きを見ながら、ひとつひとつ料理の味確かめていました。また、会場入り口では、即売コーナーも設けられ、地元野菜、手作りの大山おこわやこんにやくなど、格安で新鮮な商品が並び、買い求めるたくさんの人で賑わいました。

自然とスポーツが一体化

〜どろんどろんソフトバレーボール大会〜

6月10日、田植え前の水田をコートにした、どろんどろんソフトバレーボール大会が、小町集落内で行われました。

この大会は、地域の活性化と、自然に触れ合うことの素晴らしさを体験することを目的に、7年前から小町・小町集落を取り組んでいます。この日は、町内をはじめ米子市や松江市から、10チーム、およそ100人が参加し、熱戦を繰り広げました。

始めに予選が行われ、10チームが2つのリーグに分かれ、21点の1セットマッチで勝敗を競いました。その後、各リーグ上位1チームが決勝を行いました。

大会には大人だけでなく小学生も参加し、泥まみれになりながら、優勝をめざしプレーしていました。



ボールめがけてスライディングする選手

町内の教育現場を見学

〜町内学校巡りバスツアー〜

6月12日の町内一斉学校公開日に合わせ、町内の学校を見学するバスツアーが行われました。

このバスツアーは、町内の学校を巡り、学校の教育状況や地域の特性を活かした教育活動を見学してもらうため、教育委員会の主催で行われました。参加したのは、民生児童委員や一般町民合わせて14人で、町内7か所ある学校のうち、岸本中学校や溝口小学校など、合計4校を見学しました。



学校職員から説明を聞く参加者

溝口小学校では、今年新たに増築された特別教室棟を見学しました。以前の図工室はプレハブ小屋でしたが、今回の増築工事によって、新しい建物の1階に設けられました。参加者からは、「二つのクラスに先生が複数着くなど、授業体制が素晴らしい」、「学校行事の数に驚いた」など、様々な意見が上がっていました。